

安全保障関連法の後に

川戸れい子 (新聞委員)

案の定、と言うと不謹慎かもしれないが、9月18日、安全保障関連法案が参議院での強行採決で可決成立した。内閣不信任案等による野党の抵抗、そして何より、連日連夜、国会周辺で法案反対を叫ぶ人々の声にもかかわらず。

この結果は前から見えていた。多くの法律専門家の「違憲」との見解、与党内の疑念にも全く耳を貸さない安倍総理とその取り巻きたち、矛盾した解釈を述べて恥じない鉄面皮、「法的安定性は関係ない」と言ってしまふ閣僚がいるくらいなのだから。

法案の概要が見えたのは随分前のことだ。「集団的自衛権」がまず問題であり、憲法上、これは認められないという、大枠での法解釈が問題となっていた。しかしその「集団」とは実質的に、日米安全保障条約の当事国を指すのであれば、アメリカの戦闘行為が「自衛」と言えるのかどうかは、甚だ疑わしい。そこで『総理さんの歌』を作り、被災者支援バザーで歌ってみた。

①総理さん、総理さん、戦争が好きなのね。

そうよ、アメリカも好きなのよ。

『ゾウさん、ゾウさん』の節で歌う。4番まであるのだが、今年2月、沖縄での会員集会で8番まで出来たとのこと。

この法案で騒然とする中、原発は再稼働してしまった。法案成立後、安倍総理は、経済最優先、「新たな3本の矢を放つ」と言う。介護保険法改悪により、小規模事業者は立ち往かなくなり、福祉の切り捨てで療育事業等への助成金も大幅に減額。アベノミクスの恩恵は一部大企業だけのものだ。

②総理さん、総理さん、お金が好きなのね。

そうよ、権力も好きなのよ。

思い出して欲しい、この法案成立の第一歩が、国会審議抜きで閣議決定で踏み出され、総理が、「私が決める」と言い放ったことを。これから何が起るのか。経済、経済と言い、「一億総活躍社会」という気味の悪いスローガンを掲げ、隙を見て憲法改正の発議を国会にかける。そして、18歳にまでラインを下げた国民投票へと進もうというのだ。

③ 総理さん、総理さん、議決は要らないの？

そうよ、私が決めるのよ。

思い出して欲しい、後藤健二さんのことを。国民を守るための法だと言うが、この政権が国民を守ろうとしたかどうか。

④ 総理さん、総理さん、国民て誰なのよ

もちろん私の支持者です。

次の選挙で、「国民」が応えねばならない。